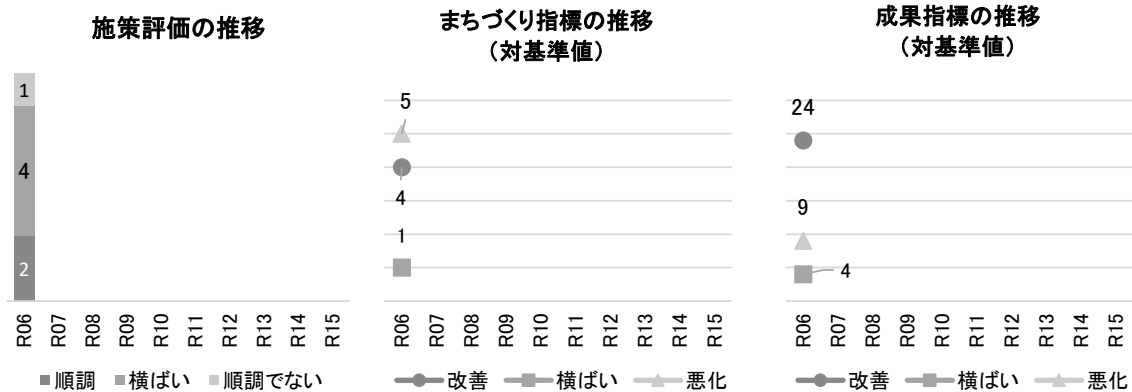


めざまちの姿5 安心安全・都市基盤分野 ～安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している～

■施策評価の推移

施策名	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
防災・減災対策の推進	横ばい									
消防・救急体制の充実	横ばい									
暮らしの安全対策の推進	順調でない									
地域特性を生かした土地利用の推進	順調									
安全で快適な移動環境の整備	順調									
花と緑につつまれたまちの推進	横ばい									
水道水の安定供給と汚水の適切な処理の推進	横ばい									



■指標の状況(対基準値)

■まちづくり指標

市民、地域、企業、行政が連携し、災害時に備えていると思う人の割合	-0.2% 低下
消防・救急体制に安心感を持っている人の割合	+1.9% 向上
交通事故に対する不安がなく、安全に生活できていると思う人の割合	+3.0% 向上
犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合	-0.4% 低下
自宅周辺が住みやすい場所(所)であると思う人の割合	+1.7% 向上
鉄道駅の概ね1km圏内の人口	-0.2% 低下
市内・市外へ円滑に移動できる環境が整っていると思う人の割合	+3.2% 向上
花や緑が豊かなまちであると思う人の割合	-4.1% 低下
水道水を安心して利用できている人の割合	-3.2% 低下
汚水処理体制に安心感を持っている人の割合	変化なし

■成果指標 (小数点端数表示の関係で、足し上げても100%にならない場合があります)

改善	64.9%	横ばい	10.8%	悪化	24.3%
----	-------	-----	-------	----	-------

■関連する個別計画

地域防災計画	交通安全計画	マンション管理適正化推進計画
地域強靱化計画	地域安全活動行動計画	無電柱化推進計画
津波対策計画	都市計画マスタープラン	幹線道路網整備計画
災害時用資機材・物資備蓄計画	立地適正化計画	緑の基本計画
公共下水道事業計画	総合交通戦略	花・水・緑の基幹軸整備基本計画
下水道総合地震対策計画	住宅マスタープラン	公園施設長寿命化計画
公共下水道ストックマネジメント計画	建築物耐震改修促進計画	下水道事業経営戦略
水防計画	公共建築物保全実施計画	水道事業ビジョン
地域公共交通計画	空家等対策計画	

施策 16 防災・減災対策の推進

主管課：防災危機管理課

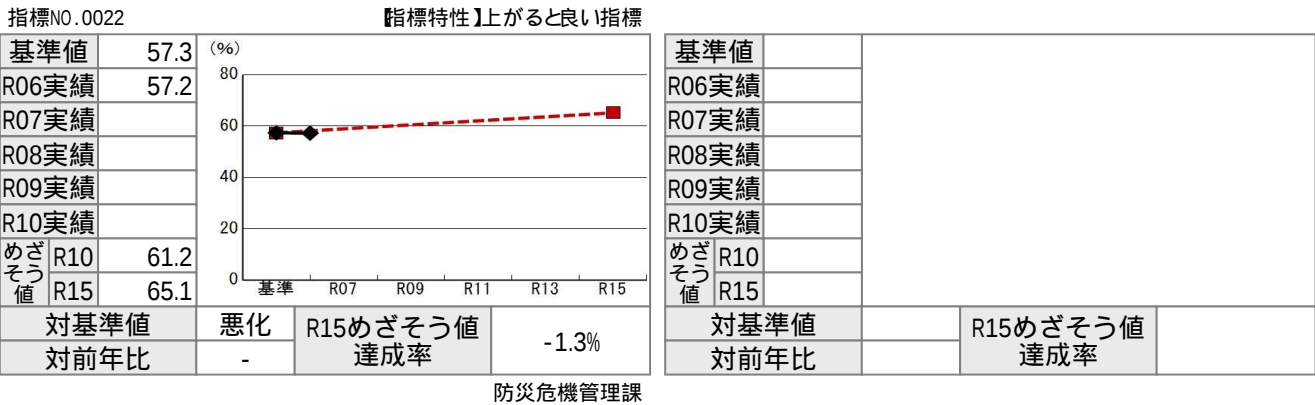
- 施策の目標
- 地域や行政などが協力することで、防災・減災対策が進み、災害に強いまちがつくられています。
- 施策の基本方針
- 防災対策に係る啓発活動などの実施により、市民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、地域においては自主防災組織の活性化に努め、助け合いによる地域の防災力を強化することで、災害への備えを促進します。
- また、避難所や備蓄物資の整備のほか、河川などの計画的な整備や日常的な維持管理などにより、防災・減災対策（強靱化）に取り組むことで、災害に強いまちづくりを進めます。

■ 施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	1,607,189	対前年比	75.2%	決算	R06年度	1,415,856	対前年比	70.1%
	R05年度	2,137,680				R05年度	2,018,896		

■ まちづくり指標の推移

市民、地域、企業、行政が連携し、災害時に備えていると思う人の割合（％）



■ 施策全体の評価 横ばい

- 指標
動向
- ・まちづくり指標は、基準値より0.1ポイント低下している。年齢別では、16～19歳で72.2%と高いが、65～74歳で50.0%と低くなっている。
- 施策
全体
評価
の
要因
分析
- ・まちづくり指標は低下しているものの、単位施策は全て順調であることから、施策全体としては横ばいと評価する。
- ・市民の防災意識の高揚を図るための啓発活動に加え、自主防災組織に対する補助事業や地域防災リーダー育成事業の進展、人命救助や避難所運営に必要な資機材を取り扱う訓練など、地域と市が連携して防災活動に取り組んでいるものの、まちづくり指標に大きな変化は見られない状況となっている。
- ・単位施策01「日ごろから防災・減災に向けて備えている項目数」及び「災害情報の入手方法として知っている項目数」は基準値より改善しており、防災訓練や防災講演会等で防災意識の向上を図ることは有効であるとする。一方、単位施策03「災害協定締結数」は前年度から横ばいであり、多様な支援体制が確保できるよう協定の締結を進める必要があるとする。
- 今後
の方針
- ・自助や共助による実践的な防災対策を行ってもらえるように、様々な情報発信を実施しながら、防災意識高揚のための啓発を進めていくとともに、地域と関わりながら自主防災組織の活性化に努め、助け合いによる地域の防災力の強化を進めていく。

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
日ごろから防災・減災に向けて備えている項目数（項目/人）	2.3	2.3	2.4	2.7	改善
災害情報の入手方法として知っている項目数（項目/人）	1.8	1.8	2.1	2.2	改善

成果指標動向

- ・「日ごろから防災・減災に向けて備えている項目数」は、基準値より0.4項目、前年度より0.3項目改善している。年齢別では、20代で基準値より0.5項目低下しているが、それ以外の年代では、基準値を上回っている。
- ・成果指標「災害情報の入手方法として知っている項目数」は、基準値より0.4項目、前年度より0.1項目改善している。年齢別では、10代および20代が基準値より0.1項目低下しているが、それ以外の年代は基準値を上回っている。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
09-01-04	防災対策啓発事業	428	427
活動結果	市民の防災・減災意識の高揚を図るため、災害時に役立つ防災グッズを購入し、防災訓練や防災講演会等で配布した ・非常用トイレ 1,500個 ・安眠セット 1,000個 ・ホットアイマスク 1,323個 ・除菌ウェットティッシュ 1,000個	決算の内訳（主なもの）	
		7節	1
		10節	426
		課名	
		【防災危機管理課】	
09-01-04	家具転倒防止対策費補助事業	161	161
活動結果	地震による被害を未然に防ぐため、住居内において家具転倒防止対策を行うものに対して経費を補助した ・対象者 自ら居住する住宅内に当該器具の取付けを行う者 ・補助限度額 10千円/件 ・実績 34件	決算の内訳（主なもの）	
		18節	161
		課名	
		【防災危機管理課】	
09-01-04	災害時避難行動要支援者支援事業	1,727	1,413
活動結果	避難行動要支援者名簿を更新し、町内会・自治会及び民生委員が個別避難計画の作成・管理・活用をすることで災害時における避難行動要支援者の避難支援等を行った	決算の内訳（主なもの）	
		7節	1,336
		10節	77
		課名	
		【社会福祉課】	
09-01-04	災害医療活動人材育成事業	128	120
活動結果	災害支援看護職活動員等を対象に、災害医療に関する知識を身に付けることや担うべき役割を理解することを目的に研修会を実施した 実 施 日：令和7年 1月25日 場 所：勤労センター 参加人数：34人	決算の内訳（主なもの）	
		7節	63
		8節	2
		11節	53
		課名	
		【健康推進課】	

その他事業

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
09-01-01	地域防災センター管理運営経費 【消防本部】	3,706	3,706
09-01-04	災害時避難行動要支援者支援システム運用保守経費 【社会福祉課】	1,800	1,650

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
地域防災訓練の実施割合（％）	75.0	75.0	100.0	91.7	改善

成果
指標
動向

・「地域防災訓練の実施割合」は、前年度より8.3ポイント低下したものの、基準値より16.7ポイント改善している。市内にある12のコミュニティのうち、1コミュニティが天候不順等の理由から防災訓練を実施することができなかった。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
09-01-04	地域防災リーダー育成事業	671	671
活動結果	自主防災組織の活性化及び地域防災力の強化を図るため、災害に関する知識や防災活動の技術を習得した実践的な地域防災リーダー養成講座を開催した ・まちづくり協働推進事業(とうかい防災ボランティアネット) ・講座回数 8回 ・修了者 15人	決算の内訳（主なもの）	
		12節	671
		課名	
		【防災危機管理課】	
09-01-04	市総合防災訓練事業	1,755	1,594
活動結果	広く防災意識向上のための普及啓発を行うとともに、実践的な災害活動の技術を習得するため、市民及び防災関係機関が参加する総合防災訓練を名和コミュニティと共催で実施した ・時期 2024年10月26日 ・場所 名和小学校 ・参加人数 31団体 529名	決算の内訳（主なもの）	
		10節	258
		12節	1,336
		課名	
		【防災危機管理課】	
09-01-04	自主防災組織地震防災対策補助事業	6,256	4,565
活動結果	町内会・自治会等の自主防災組織が行う防災用資機材の購入等に対し補助した ・補助率 8/10 ・補助団体数 20団体	決算の内訳（主なもの）	
		18節	4,565
		課名	
		【防災危機管理課】	
09-01-04	災害支援ボランティア訓練事業	178	178
活動結果	災害ボランティアセンターの設置・運営が円滑に行えるよう災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施した ・委託先 東海市社会福祉協議会 ・実施場所 しあわせ村	決算の内訳（主なもの）	
		12節	178
		課名	
		【社会福祉課】	
09-01-04	地域防災訓練事業	261	226
活動結果	防災活動を推進するため、コミュニティ単位での訓練計画に基づき、年間を通じて各地域の地域性等に応じた訓練を実施した ・実施期間 2024年 6月 8日～2025年 3月 2日 ・参加人数 16団体 1,588人	決算の内訳（主なもの）	
		1節	172
		8節	9
		10節	45
		課名	
		【消防本部】	

単位 施策		行政の防災・減災体制を充実させる				評価 順調	
03						主管課：防災危機管理課	
成果指標名		基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値	
災害時に必要な物品の備蓄率（％）		91.7	91.7	91.7	93.6	改善	
災害協定締結数（件）		150	150	166	166	改善	
成果指標動向		・「災害時に必要な物品の備蓄率」は、基準値及び前年度より1.9ポイント改善している。災害時用資機材・物資備蓄計画を基に順次、備蓄している。 ・「災害協定締結数」は、基準値より16件改善しており、前年度と同数となっている。					
主な事業の概要		(単位：千円)					
款項目		事業名		R06年度予算	R06年度決算		
09-01-04		避難所整備事業		48,949	7,692		
活動結果	災害から市民を安全に避難させ、避難所等での生活を確保するため、災害対応に必要な資機材や防災倉庫の整備を整備した ・発電機 52台（拠点及び予備拠点避難所） ・防災資機材倉庫及び防災備蓄倉庫の改修(小学校3校)			決算の内訳（主なもの）			
				10節	2,652		
				11節	149		
				17節	4,891		
				課名			
				【防災危機管理課】			
09-01-04		備蓄用物品（食糧等）整備事業		18,022	13,624		
活動結果	避難所生活で使う物品(備蓄食糧等)を避難者15,000人を想定して整備した ・アルファ化米27,600食、クラッカー18,300食、パンの缶詰10,008食、野菜ジュース15,000本			決算の内訳（主なもの）			
				10節	13,624		
				課名			
				【社会福祉課】			
09-01-04		備蓄用物品（乳児用品等）整備事業		1,145	1,091		
活動結果	災害時に被災者（乳幼児）が避難所等での生活で必要となる物品を更新した ・粉ミルク 缶（アレルギー用）2ケース ・粉ミルク スティック 49ケース ・離乳食用ベビーフード 3,240個			決算の内訳（主なもの）			
				10節	1,091		
				課名			
				【幼児保育課】			
09-01-04		備蓄用物品（簡易トイレ等）整備事業		3,388	3,388		
活動結果	避難所等での簡易トイレの衛生環境を確保するため、災害用トイレ処理セットを整備した ・災害用トイレ処理セット(凝固シート、汚物処理袋、保管用袋、受けパック) 175箱			決算の内訳（主なもの）			
				10節	3,388		
				課名			
				【リサイクル推進課】			
09-01-04		地域強靱化計画策定事業		5,857	4,235		
活動結果	国の強靱化基本計画や県の地域強靱化計画等との整合・調和を図りながら、大規模な自然災害が起こった際でも国や県等相互連携のもと、機能不全に陥ることのない地域づくりの指針となっている本市地域強靱化計画を改定した ・委託内容 脆弱性評価、リスク対応方策、アクションプラン作成 ・策定の経過 2019年12月策定、2021年 3月改定、2025年 3月改定			決算の内訳（主なもの）			
				12節	4,235		
				課名			
				【防災危機管理課】			

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
雨水幹線の整備率（％）	83.5	83.5	83.5	83.7	改善

成果
指標
動向

- ・「雨水幹線の整備率」は、基準値から0.2ポイント向上している。加木屋地区の整備が進んだためである。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
08-03-01	河川水位監視事業	3,918	3,738
活動結果	浸水被害の軽減を図るため、河川の状況をリアルタイムで把握し、市民に対して情報を提供した ・カメラ 全6台(南柴田樋門×2、土留木橋、山東橋、木庭中橋、順見橋) ・水位計 全4台(土留木橋、山東橋、木庭中橋、順見橋) ・雨量計 全2台(土留木橋、順見橋)		決算の内訳（主なもの）
			11節 721
			12節 1,494
			13節 1,426
			課名
			【土木課】
08-03-02	浸水対策用ため池維持管理支援事業	3,170	3,170
活動結果	浸水対策として池の保全及び水位調整を行うために、市内のため池の管理団体に対して、報償金を支給した ・対象 8団体、19池 ・報償費 ため池1箇所につき100千円及び草刈費用		決算の内訳（主なもの）
			7節 3,170
			課名
			【土木課】
08-04-01	下水道事業会計雨水処理負担金	1,150,760	1,105,423
活動結果	下水道事業の雨水処理に要する経費を負担した ・維持管理費分 455,591千円 ・企業債利息分 64,108千円 ・減価償却費分 585,724千円		決算の内訳（主なもの）
			18節 1,105,423
			課名
			【都市計画課】
09-01-03	水防訓練実施事業	626	592
活動結果	水防体制の強化及び水防技術の向上のため、水防関係各機関の協力を得て総合的な水防訓練を実施した ・実施日 2024年 6月16日 明倫小学校 ・参加人数 東海市防災活動協力事業者協会39人、市職員47人、消防職員33人、消防団41人、防火協力会10人、大田川流域浸水対策協議会9人、明倫コミュニティ19人		決算の内訳（主なもの）
			7節 90
			12節 315
			15節 159
			課名
			【土木課】
09-01-03	大田川流域地区浸水対策推進事業	794	565
活動結果	浸水対策事業のうち、ソフト対策として避難行動訓練等を実施した（ハザードマップ作成は完了した） ・避難行動訓練(平洲コミュニティ) ・浸水表示板の設置(平洲コミュニティ)		決算の内訳（主なもの）
			12節 565
			課名
			【土木課】

施策 17 消防・救急体制の充実

主管課：消防本部

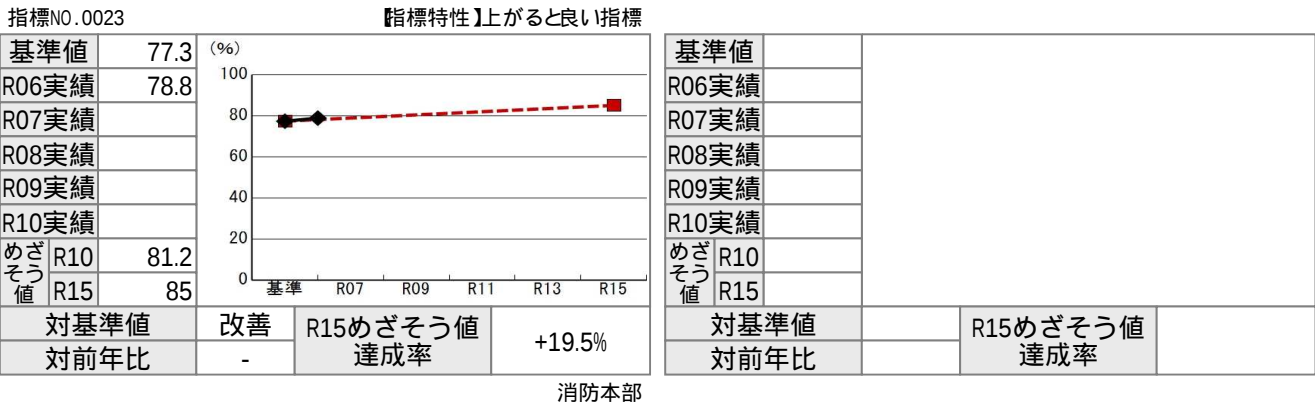
■ 施策の目標
消防・救急体制が整い、市民の生命と財産が守られています。

■ 施策の基本方針
火災などの災害から市民の生命と財産を守るため、住宅への火災対策と防火対象物への立入検査により防火対策を推進するとともに、消防施設の整備と消防職員・消防団員の資質向上により消防・救助体制を強化します。
また、病気やけがから市民を守るため、救急体制の拡充を図るとともに、市民の救命意識の向上と適切な救急車利用の促進により、救急・救命体制を強化します。

■ 施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	573,555	対前年比	146.1%	決算	R06年度	412,241	対前年比	107.0%
	R05年度	392,687				R05年度	385,097		

■ まちづくり指標の推移
消防・救急体制に安心感を持っている人の割合（％）



■ 施策全体の評価 **横ばい**

・まちづくり指標は基準値より1.5ポイント改善している。

指標
動向

■ 施策全体の評価の要因分析
・まちづくり指標は基準値より改善しているものの、単位施策02「消防・救助体制を強化する」、03「救急・救命体制を強化する」は横ばいとなっており、これらを踏まえて施策全体としては「横ばい」と評価する。
・高齢者世帯への防火指導実施率や救急隊の現場到着時間、救命講習の参加者数といった市民と消防が直接的に対面する機会のある指標については改善傾向にあると考える。
・消防団員充足率については、少子高齢化や人口減少に加え、地域活動への参加意識の低下や活動に対する負担の増加などの若年層の価値観の変化による入団意欲の低下により、なり手が減少してきているものとする。

今後の
方針

・消防団員の減少が危惧されるなか、大規模災害への備えとして地域防災の中核として法律に位置付けられる消防団員の加入促進を図り、人員の確保を行う。役割の多様化に対応するため、機能別分団の検討や装備、資機材を見直す必要がある。
・防火指導や立入検査は、実施方法と対象を見直し、より効果的で質の高い実施を目指す。コロナ禍以降、特殊犯罪等が多発している昨今、対面実施が困難となるケースもあり、実施形態の再検討が必要となる。
・救急体制は、高齢者の増加等に伴う救急需要の増加に対応するため、日勤救急隊の発足や救急隊の常時5隊運用に向けて、救急救命士の育成及び消防職員の増員を計画的に実施していく。

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
高齢者世帯への防火指導実施率（％）	97.9	97.9	98.2	99.1	改善
防火対象物への立入検査実施率（％）	49.4	49.4	100.9	70.4	改善

成果指標動向

- ・「防火指導実施率」は、基準値より1.2ポイント改善し、前年度より0.9ポイント改善している。
- ・「立入検査実施率」では、基準値よりも21.0ポイント改善はしているものの、前年度よりも30.5ポイント低下している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
09-01-01	火災予防啓発事業	2,951	2,319
活動結果	75歳以上の高齢者のいる世帯に対し、住宅防火診断等を行い、火災予防を広く市民に啓発した ・対象地区 名和小学校区域 ・時期 2024年 9月 2日～2025年 2月28日 ・訪問世帯 1,354世帯		決算の内訳（主なもの）
			1節 807
			3節 305
			7節 816
			課名
			【消防本部】
09-01-01	消火栓整備事業	23,518	9,137
活動結果	消防水利の充実を図るため、消火栓の新設及び改良を行った ・新設場所 荒尾町大狭間地内始め 4箇所 ・改良場所 名和町平戸口地内始め 1箇所		決算の内訳（主なもの）
			18節 9,137
			課名
			【消防本部】
09-01-01	親子消防体験事業	20	15
活動結果	市内在住又は在学の小学生とその保護者を対象として、消防、防災に関する体験イベントを開催した ・実施日 2025年 3月 1日 ・実施場所 消防署南出張所 ・参加者 28組56人 ・内容 救助、放水、煙、地震、はしご車、救急の各種体験		決算の内訳（主なもの）
			10節 15
			課名
			【消防本部】
09-01-01	泡消火薬剤購入事業	621	304
活動結果	石油コンビナート災害に備えるため、泡消火薬剤を廃棄した ・合成界面活性剤泡消火薬剤 1,800L		決算の内訳（主なもの）
			11節 304
			課名
			【消防本部】
09-01-01	消防・防災フェスタ開催事業	1,055	1,055
活動結果	市民の防火・防災意識の高揚を図るため、消防・防災フェスタを市制55周年記念事業として規模を拡大して開催した ・開催時期 2024年10月19日（土） ・場所 太田川駅前イベント広場 ・来場者数 約1,000人 ・内容 放水体験、地震体験、はしご車試乗体験等		決算の内訳（主なもの）
			10節 633
			12節 422
			課名
			【消防本部】

単位 施策		02 消防・救助体制を強化する				評価 横ばい	
						主管課：消防本部	
成果指標名		基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値	
住宅火災における火災現場到着から放水開始までの時間 (秒/件・年)		197	197	0	120	改善	
消防団員充足率（％）		93.9	93.9	88.9	86.8	悪化	
成果指標動向		・「火災現場到着から放水開始までの時間」について、基準値より77秒短縮している。前年度は対象となる住宅火災の発生がなかったため、0となったもの。 ・「消防団員充足率」は、基準値よりも7.1ポイント低下しており、前年度よりも2.1ポイント低下している。					
主な事業の概要						(単位：千円)	
款項目		事業名		R06年度予算	R06年度決算		
09-01-01		消防・救助活動事業		6,876	6,828		
活動結果	多くの市民の生命及び財産を複雑多様化する災害から守るため、必要な資機材を整備した ・消防ホース 50本 ・防火衣 7着			決算の内訳（主なもの）			
				10節	887		
				11節	677		
				17節	5,181		
				課名			
			【消防本部】				
09-01-01		消防車両購入事業		70,325	32,678		
活動結果	消防力を強化し、消防体制の万全を期するため、消防車両を購入した ・高規格救急自動車 1台(北出張所) ・消防ポンプ自動車 1台(北出張所) (翌年度繰越額 37,565,000円)			決算の内訳（主なもの）			
				11節	77		
				17節	32,538		
				26節	33		
				課名			
			【消防本部】				
09-01-01		消防車両分解整備事業		43,740	43,730		
活動結果	消防車両の性能及び安全性を確保するため、分解整備を行った ・対象車両 大型梯子付消防自動車（2017年 1月購入） ・整備内容 塔脱着分解整備			決算の内訳（主なもの）			
				10節	43,730		
				課名			
			【消防本部】				
09-01-02		消防団車両購入事業		54,224	54,156		
活動結果	消防力を強化し、消防体制の万全を期するため、消防団車両を購入した ・小型動力ポンプ付積載車 4台 (第2、6、7、8分団)			決算の内訳（主なもの）			
				11節	213		
				17節	53,812		
				26節	131		
				課名			
			【消防本部】				
09-01-02		消防団加入促進事業		1,639	1,639		
活動結果	消防団の充実強化に向け、地域・企業・大学等と連携し、消防団への加入を進めるため、各種事業の計画を策定した。 ・消防団員募集等PR動画の制作 地域連携等による消防団加入促進モデル事業 交付額 940,500円			決算の内訳（主なもの）			
				12節	1,639		
				課名			
			【消防本部】				

単位
施策

03

救急・救命体制を強化する

評価
横ばい

主管課：消防本部

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
救急隊現場到着時間（秒/件・年）	396	396	370	371	改善
救急救命士充足率（％）	80.0	80.0	90.0	80.0	横ばい
救命講習の参加者数（人/年）	687	687	683	726	改善

成果
指標
動向

・「救急隊現場到着時間」は、基準値よりも25秒短縮し、改善されているが、前年度からは1秒延長（低下）している。

・「救急救命士充足率」は、基準値より同数で横ばい状態にある。前年度からは10.0ポイントの低下が見られる。

・「救命講習の参加者数」は、基準値よりも39人改善しており、前年度からも43人改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算	
09-01-01	救急活動事業	9,631	8,951	
活動 結果	救急事案に対応し、高度な救急活動を実施するため、救急措置に必要な資器材を整備するとともに、医療機関との連携を強化した ・救急活動に必要な消耗品 ・救急救命事後検証委託 185件 ・救急救命処置指示委託 141件		決算の内訳（主なもの）	
			10節	7,018
			11節	499
			12節	1,434
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	救急救命士等育成事業	8,116	7,861	
活動 結果	救急救命士や救急隊員の知識と技術を向上させるため、救急研修に職員を派遣した ・救急救命士養成研修 2人 ・救急救命士再教育病院実習 20人 ・救急救命士気管挿管再教育病院実習 3人 ・救急隊員病院実習等 6人		決算の内訳（主なもの）	
			8節	2,250
			12節	1,193
			18節	3,706
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	救命講習普及啓発事業	163	85	
活動 結果	市民の救命技能の向上を図るため、心肺蘇生やAEDの使用方法を救命講習を通じて市民に周知した ・上級救命講習 4回開催 参加者 84人 ・普通救命講習 31回開催 参加者 642人 ・一般救命講習 116回開催 参加者 1,914人		決算の内訳（主なもの）	
			10節	85
			課名	
			【消防本部】	

その他事業

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
09-01-01	高規格救急自動車購入事業 【消防本部】	102,900	0

施策 18 暮らしの安全対策の推進

主管課：交通防犯課

■ 施策の目標

市民や関係機関などが、一体となって交通安全や防犯対策に取り組み、安全なまちになっています。

■ 施策の基本方針

交通安全教育やパトロールなどを実施するとともに、カーブミラーをはじめとする交通安全施設などの整備により、交通安全意識と道路の安全性の向上を推進します。
また、警察などの関係機関や各種団体、地域と連携し、交通安全・防犯意識高揚に向けた広報・啓発活動を推進するとともに、消費生活に関するトラブル解消のための相談支援体制を充実させ、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

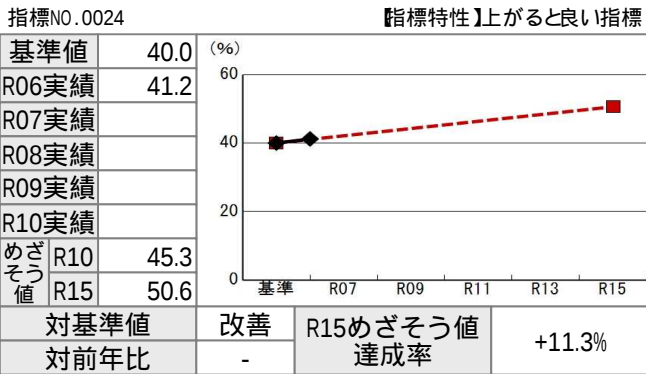
■ 施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	146,719	対前年比	106.4%
	R05年度	137,855		

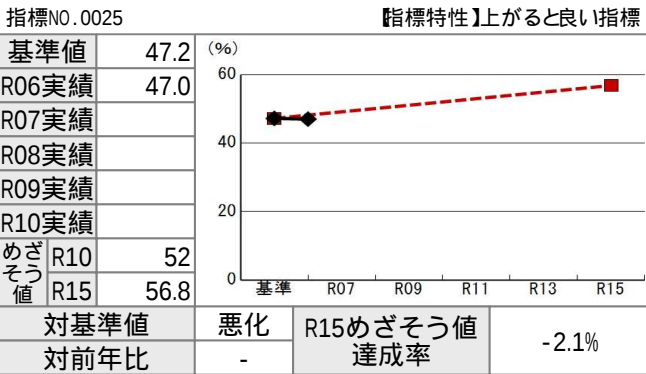
決算	R06年度	141,212	対前年比	107.0%
	R05年度	131,922		

■ まちづくり指標の推移

交通事故に対する不安がなく、安全に生活できていると思う人の割合（％）



犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合（％）



■ 施策全体の評価

順調でない

指標動向

・「交通事故に対する不安がなく、安全に生活できていると思う人の割合」は基準値より1.2ポイント改善している。また、「犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合」は基準値より0.2ポイント低下した。

施策全体評価の要因分析

・まちづくり指標は横ばい傾向にあるが、成果指標の「市内における人身事故発生件数」が基準値より12件(4.7%)、「市内における犯罪発生件数」が基準値より207件(47.0%)悪化していることを踏まえ、施策全体としては順調でないと評価する。
・交通安全教室や啓発活動等、交通事故防止に向けて取り組んだことや、道路照明灯の改修や交通安全施設（路面標示、標識、カーブミラー等）の整備を適切に進めていることが、単位施策01の成果指標「人身事故発生件数」の減少や単位施策02の成果指標「ガードレールやカーブミラーなどの安全対策が整っていると思う人の割合」の改善に繋がったと考える。
・単位施策03の「市内における犯罪発生件数」は基準値及び前年度より悪化しており、市内の犯罪発生件数が増加している状況は、市民が犯罪の影響を身近に感じる機会が増え、「犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合」の指標にも影響を及ぼしたと考える。

今後の方針

・今後も、交通事故防止と交通環境の改善に向けた多角的な取り組みを強化するとともに、全国的な犯罪の凶悪化・多様化に対応した実効的な対策を講じるため、警察と地域が連携し、情報共有や啓発活動、防犯対策の強化、交通安全教育の推進、交通安全施設や防犯施設等の整備の充実などに取り組んでいく。

単位 施策 01		交通安全意識を向上させる				評価 横ばい	
		主管課：交通防犯課					
成果指標名		基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値	
市内における人身事故発生件数（件/年）		256	256	300	268	悪化	

成果指標動向

・「市内における人身事故発生件数」は基準値から12件（4.7%）悪化しているものの、前年度より32件（10.7%）改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
02-01-13	交通安全パトロール事業	4,789	4,078
活動結果	交通事故を減少させるため、地域安全指導員を採用し、地域安全パトロール車で交通安全パトロールを行い、市内危険箇所の巡回や啓発を実施した ・地域安全指導員 4人（うち交通安全1人）		決算の内訳（主なもの）
			1節 2,211
			3節 969
			4節 583
			課名
			【交通防犯課】
02-01-13	交通安全教育事業	11,948	11,546
活動結果	児童の登下校時における交通事故防止及び市民の交通安全を図るため、小学校区に交通指導員を配置した ・交通指導員 13人 （小学校区各1人、全域担当1人）		決算の内訳（主なもの）
			1節 10,398
			8節 374
			10節 774
			課名
			【交通防犯課】
02-01-13	交通安全啓発事業	3,215	3,116
活動結果	交通事故による犠牲者を減らすため、家庭、学校、地域、事業所及び警察と連携した啓発等を実施した ・四季の交通安全週間 4回/年		決算の内訳（主なもの）
			10節 3,116
			課名
			【交通防犯課】
02-01-13	運転免許証自主返納支援事業	271	167
活動結果	交通事故を減少させるため、有効期限内の運転免許証を自主返納した高齢者等を対象とし、循環バスの特別乗車証（75歳以上の高齢者にはタクシーチケット）を配布した ・運転免許証自主返納件数 248件 ・内訳 特別乗車証 63件 タクシー券 185件		決算の内訳（主なもの）
			7節 167
			課名
			【交通防犯課】
02-01-13	自転車乗車用ヘルメット購入費補助事業	2,460	1,141
活動結果	自転車による交通事故被害の軽減を図るため、「自転車乗車用ヘルメット」の購入費用に対して補助した ・補助率 1/2以内（限度額2,000円） ・対象者 小学生以上 ・実績 小中高校生 402人 大人 195人 計 597人		決算の内訳（主なもの）
			18節 1,141
			課名
			【交通防犯課】

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
ガードレールやカーブミラーなどの安全対策が整っていると思う人の割合（％）	50.0	50.0	47.7	49.9	悪化

成果指標動向

・「ガードレールやカーブミラーなどの安全対策が整っていると思う人の割合」は、基準値から0.1ポイント低下しているものの、前年度より2.2ポイント改善している。

主な事業の概要			(単位：千円)	
款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算	
02-01-13	道路反射鏡等整備事業	7, 198	7, 198	
活動結果	道路反射鏡等の交通安全施設を設置した ・道路標示(外側線、停止指導線) 312.2m ・道路反射鏡 18基		決算の内訳（主なもの）	
			14節	7, 198
			課名	
			【交通防犯課】	
02-01-13	道路照明灯改修事業	6, 160	6, 160	
活動結果	老朽化した道路照明灯を撤去・改修した ・対象 19基(南柴田町1基、浅山1基、荒尾町5基、富木島町2基、中央町3基、大田町1基、横須賀町1基、養父町1基、加木屋町3基、元浜町1基)		決算の内訳（主なもの）	
			14節	6, 160
			課名	
			【交通防犯課】	

その他事業			(単位：千円)	
款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算	
02-01-13	道路照明灯等維持管理経費 【交通防犯課】	30, 216	29, 876	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
市内における犯罪発生件数（件/年）	440	440	476	647	悪化

成果指標動向

・「市内における犯罪発生件数」は、基準値より207件（47.0％）、前年度より171件（35.9％）悪化している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
02-01-14	地域安全推進協議会設置事業	222	168
活動結果	安全・安心な市民生活を確保するための理念や基本施策について調査・審議を行うため開催した ・委員数 18人 ・内容 第1回(2024年 6月24日) 第2回(2025年 2月18日)	決算の内訳（主なもの）	
		1節	158
		8節	7
		10節	3
		課名	
		【交通防犯課】	
02-01-14	青色防犯パトロール活動支援事業	200	140
活動結果	青色防犯パトロール活動を支援するため、交付金を支給した ・対象者 防犯ボランティア登録団体 ・対象経費 青色防犯パトロールの活動経費 ・実績 4団体7車両 ・交付額 1車両2万円(限度額)	決算の内訳（主なもの）	
		18節	140
		課名	
		【交通防犯課】	
02-01-14	防犯カメラ設置事業	3,521	3,463
活動結果	犯罪発生を抑止するための防犯カメラを設置及び更新した ・設置箇所 2台(新駅アクセス通路側2台) ・更新箇所 8台(名和駅1台、太田川駅西側4台、尾張横須賀駅2台、南加木屋駅1台)	決算の内訳（主なもの）	
		11節	3,463
		課名	
		【交通防犯課】	
02-01-14	高齢者特殊詐欺等被害防止対策機器購入費補助事業	745	745
活動結果	高齢者世帯の特殊詐欺等被害防止対策のため、「迷惑電話防止機器」の購入費用に対して補助した ・補助率 1/2以内(限度額6,000円) ・対象者 65歳以上の者が居住する世帯 ・実績 計 132件	決算の内訳（主なもの）	
		18節	745
		課名	
		【交通防犯課】	
02-01-14	防犯用具購入費補助事業	2,695	2,571
活動結果	犯罪抑止力強化のため、「防犯対策用具」等の購入費用に対して補助した ・補助率 1/2以内(限度額16,000円) ・対象者 市内に住所を有する世帯 ・実績 計 197件	決算の内訳（主なもの）	
		18節	2,571
		課名	
		【交通防犯課】	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
消費生活に関するトラブルへの対応策を知っている人の割合（％）	52.4	52.4	58.5	60.1	改善

成果
指標
動向

・「消費生活に関するトラブルへの対応策を知っている人の割合」は基準値に比べ7.7ポイント、前年度に比べ1.6ポイント改善し順調である。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
04-01-01	食品衛生活動補助事業	100	100
活動結果	飲食に起因する伝染病、食中毒による被害発生を防ぎ、食品の品質 その他食品衛生の向上を図るため、愛知県食品衛生協会知多支部に 対し補助を実施した ・補助対象 食品衛生指導員による巡回指導、 研修会、のぼり旗等 ・補助率 定額	決算の内訳（主なもの）	
		18節	100
		課名 【生活環境課】	
07-01-06	商品量目検査事業	49	43
活動結果	食料品等生活必需品の正量取引を確保し、消費者保護と商取引の円 滑化を図るため、計量取引商品の量目不足をチェックする量目試買 検査を行った ・検査補助員 延8人 ・検査実施店舗 8店舗 ・検査実施品目 34品目	決算の内訳（主なもの）	
		7節	20
		10節	23
		課名 【商工労政課】	
07-01-06	消費者広場開催事業	1,300	1,169
活動結果	消費生活に関する情報提供を充実させ、消費者問題に対する意識の 向上を図るため、東海秋まつりに合わせ消費者広場を開催した ・開催時期 2024年11月 2日、3日 ・場所 勤労センター ・内容 各種啓発展示、消費者クイズ、消費生活センターP R	決算の内訳（主なもの）	
		12節	1,169
		課名 【商工労政課】	
07-01-06	消費生活講座開催事業	31	29
活動結果	悪徳商法による被害防止を図るため、消費生活講座を実施した ・対象 若者、高齢者 ・回数 出前講座 年3回 (2024年12月13日、2025年 1月17日、 2月12日) ・参加者数 286人	決算の内訳（主なもの）	
		7節	21
		8節	8
		課名 【商工労政課】	
07-01-06	消費生活センター運営事業	2,249	2,004
活動結果	東海市消費生活センターを運営し、消費生活相談員による消費者被 害の相談体制を確保した ・相談員 6人 ・相談日 週4回(月～木曜日)10:00～12:00、13:00～16:00 ・場 所 市役所市民相談室 ・相談件数 249件	決算の内訳（主なもの）	
		1節	1,753
		8節	191
		11節	43
		課名 【商工労政課】	

施策 19 地域特性を生かした土地利用の推進

主管課：都市計画課

■ 施策の目標

土地利用構想に基づき、適正に区分けされた土地利用がされています。

■ 施策の基本方針

住宅地、農地、商業地、工業地などにおける適正な土地利用と、歴史・文化資源などの地域特性を生かしたまちづくりを推進するとともに、鉄道駅を中心に、土地区画整理事業や民間開発事業などにより、魅力的な市街地を整備します。
また、住宅における耐震性などの品質確保を推進し、市民の土地建物の適切な維持管理を促します。

■ 施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	1,490,521	対前年比	93.5%
	R05年度	1,594,839		

決算	R06年度	952,093	対前年比	65.0%
	R05年度	1,465,716		

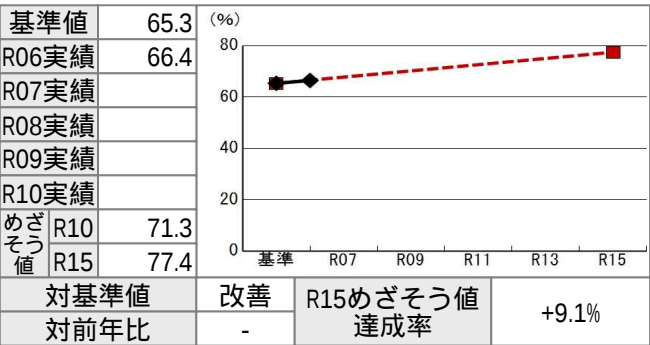
■ まちづくり指標の推移

自宅周辺が住みやすい場所（所）であると思う人の割合（％）

鉄道駅の概ね 1km 圏内の人口（人）

指標NO.0026

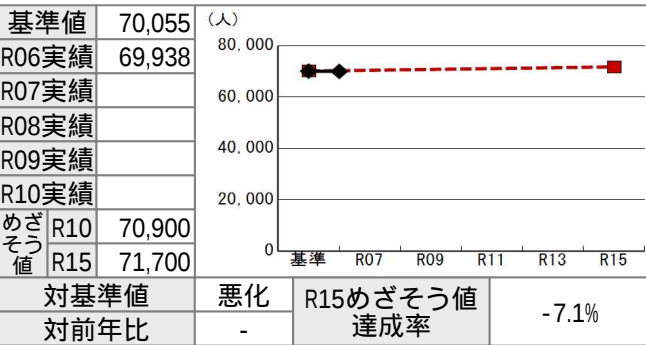
【指標特性】上がると良い指標



都市計画課

指標NO.0027

【指標特性】上がると良い指標



都市計画課

■ 施策全体の評価

順調

指標動向

- ・「自宅周辺が住みやすい場所（所）であると思う人の割合」は、基準値より改善している。学区別では、大田、船島学区で全体よりも15ポイント程度高く、緑陽、名和学区では、10ポイント以上低くなっている。
- ・「鉄道駅の概ね 1 km 圏内の人口」は、基準値より0.2%低下している。

施策全体の評価の要因分析

- ・単位施策の成果動向は横ばい傾向ではあるものの、まちづくり指標の「自宅周辺が住みやすい場所（所）であると思う人の割合」が改善、「鉄道駅の概ね 1 km 圏内の人口」は横ばいであることから、施策全体では、順調であると考え。
- ・「自宅周辺の住みやすさ」は、土地区画整理事業により住宅地の整備と合わせて公共施設や商業施設の整備を進めた地区、また、過去の土地区画整理事業等により住宅地を形成した地区で高くなっており、地域特性を生かした土地の有効活用が継続的に進められていることが影響していると考え。
- ・「鉄道駅周辺人口」は市全体の人口が基準年度に対して減少していることが影響していると考え。なお、「鉄道駅周辺人口」は、市全体の人口推移と比較して基準年度に対する減少が低いことから、鉄道駅周辺が住みやすく選ばれているものと考え。

今後の方針

- ・住宅地、農地、商業地、工業地などにおける適正な土地利用及び歴史・文化資源などの地域特性を生かしたまちづくりを推進していく。
- ・鉄道駅を中心とした土地区画整理事業（名和駅西、太田川駅西、加木屋中部）により、魅力的な市街地を整備する。
- ・市民が所有する建物について、耐震化・減災化のための取り組みを支援するとともに、空き家発生抑制や利活用の啓発を行う。

単位 施策		01 良好な都市空間を形成する				評価 横ばい	
		主管課：都市計画課					
成果指標名		基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値	
住居、農地、店舗、工場などが整然としていると思う人の割合（％）		67.0	67.0	66.3	67.0	横ばい	
住環境が整備され、快適な生活が確保されていると思う人の割合（％）		67.1	67.1	69.7	68.6	改善	
成果指標動向	・「住居などが整然としていると思う人の割合」は、基準値と変化していない。年齢別では、16歳～29歳が全体よりも10.0ポイント以上高く、65歳～74歳が全体よりも15.0ポイント以上低い。学区別では船島学区が10.0ポイント以上高く、緑陽、名和学区が10.0ポイント程度低い。						
	・「住環境が整備され、快適な生活が確保されていると思う人の割合」は、基準値より1.5ポイント改善しているが、前年度よりも低下している。年齢別では、16歳～29歳が全体よりも10.0ポイント以上高く、65歳～74歳が全体よりも15.0ポイント以上低い。学区別では、船島学区が10.0ポイント以上高く、緑陽、名和地区が10.0ポイント程度低い。						
主な事業の概要		(単位：千円)					
款項目		事業名		R06年度予算		R06年度決算	
08-04-01		都市計画業務支援システムデータ更新事業		3,355		3,300	
活動結果	用途地域及び生産緑地等の都市計画の変更に合わせて、都市計画業務支援システムのデータを更新した ・内容 都市計画変更のデータ更新、出力図作成、都市計画図版下データ更新			決算の内訳（主なもの）			
				12節		3,300	
				課名			
				【都市計画課】			
08-04-01		都市計画基礎調査事業		2,475		2,101	
活動結果	都市計画法に基づき、都市現況及び将来の見通しを定期的に把握するための調査を実施した ・内容 宅地開発状況、市街化調整区域内開発状況			決算の内訳（主なもの）			
				12節		2,101	
				課名			
				【都市計画課】			
08-04-01		名和駅西地区地籍調査事業（繰越明許費）		14,212		14,212	
活動結果	対象地区の公共事業の円滑化、権利関係の明確化のため、地籍調査を実施した ・場所 名和町一番割下始め3地内(名和駅北西第1地区) ・地籍調査(D～F、FR工程) A=0.075km ² (前年度繰越額 14,212千円)			決算の内訳（主なもの）			
				12節		14,212	
				課名			
				【土木課】			
08-04-01		名和駅西地区都市計画図書等作成事業（繰越明許費）		4,840		4,840	
活動結果	東海名和駅西土地区画整理事業の進捗に伴い、適切な土地利用の誘導を図るため、関連する都市計画を変更した ・内容 都市計画変更図等作成 (用途地域の変更、準防火地域の変更、地区計画の変更) (前年度繰越額 4,840千円)			決算の内訳（主なもの）			
				12節		4,840	
				課名			
				【都市計画課】			
08-04-01		横須賀地区まちづくり検討事業（繰越明許費）		6,612		6,612	
活動結果	横須賀地区の地域の特性を生かしたまちづくりを進めるため、景観・にぎわいについて検討した ・内容 ワークショップ3回、地域勉強会3回、アンケート調査、社会実験(歴史ツアー)1回、景観計画等骨子案のとりまとめ (前年度繰越額 6,612千円)			決算の内訳（主なもの）			
				7節		120	
				8節		13	
				12節		6,479	
				課名			
				【都市計画課】			

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
土地区画整理事業施行区域内人口（人）	29,442	29,442	29,405	29,230	悪化
土地区画整理事業施行区域内の土地の有効利用率（％）	72.5	72.5	85.8	84.6	改善

成果指標動向

- ・「土地区画整理事業施行区域内人口」は、基準値から212人（0.7％）低下している。
- ・「土地区画整理事業施行区域内の土地の有効利用率」は、基準値から12.1ポイント改善しているものの、前年度より1.2ポイント低下している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
08-02-03	加木屋中部地区地区外道路等整備事業	25,104	4,400
活動結果	加木屋中部土地区画整理事業に合わせて、道路改良工事を実施した 場所 加木屋町地内(市道名和加木屋線) 工期 2024. 6. 6～2025. 5. 30 (翌年度繰越額 10,419千円)	決算の内訳（主なもの）	
		14節	4,400
		課名 【市街地整備課】	
08-04-01	太田川駅東地区都市再構築型優良建築物等整備費補助事業	351,500	171,354
活動結果	本市の立地適正化計画で定める都市拠点都市機能誘導区域である太田川駅東地区において、誘導施設である病院が実施する維持・充実を図るための建替えに対して補助金を支給した ・施行区域 大田町後田 ・施行期間 2022年度～2026年度 (翌年度繰越額 180,146千円)	決算の内訳（主なもの）	
		18節	171,354
		課名 【市街地整備課】	
08-04-02	太田川駅西土地区画整理事業	458,000	457,084
活動結果	太田川駅西地区において、土地区画整理事業の推進を図るため、運営費等の補助金及び交付金を支給した ・施行区域 大田町後浜新田、川南新田及び下浜田の各一部 ・施行期間 2020年度～2029年度 ・施行面積 約34.4ha	決算の内訳（主なもの）	
		18節	457,084
		課名 【市街地整備課】	
08-04-02	名和駅西土地区画整理事業	39,200	37,644
活動結果	名和駅西地区において、土地区画整理事業の推進を図るため、運営費等の補助金及び交付金を支給した ・施行区域 名和町四番割、五番割、汐田西の一部 ・施行期間 2022年度～2028年度 ・施行面積 約8.0ha	決算の内訳（主なもの）	
		18節	37,644
		課名 【市街地整備課】	
08-04-02	加木屋中部土地区画整理事業特別会計繰出金	285,858	120,135
活動結果	加木屋中部土地区画整理事業特別会計決算 歳入 1,006,936千円、歳出 922,985千円 ・主要内容 道路・排水路等整備(翌年度繰越額 267,716千円)、物件移転補償(翌年度繰越額 40,406千円)、包括支援業務委託(翌年度繰越額 12,200千円)	決算の内訳（主なもの）	
		27節	120,135
		課名 【市街地整備課】	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
暮らしている住まいに満足している人の割合（％）	75.5	75.5	76.4	77.8	改善
長期優良住宅の認定戸数（戸）	3,094	3,094	3,338	3,901	改善

成果
指標
動向

- ・「暮らしている住まいに満足している人の割合」は、対基準値及び対前年度どちらも改善している。年代別では、16～29歳が全体よりも10.0ポイント程度高く、65～74歳が全体よりも10.0ポイント程度低い。
- ・「長期優良住宅の認定戸数」は、令和5年度の新規認定件数が244戸、令和6年度の新規認定件数が563戸で累計3,901戸となり、新規認定件数は増加していることから、改善傾向にある。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
08-05-01	住宅耐震改修補助事業	9,600	9,600
活動結果	1981年5月以前に建築された旧耐震基準の住宅の耐震改修工事費に対し補助した ・対象 旧耐震基準で建築した住宅所有者 ・戸建て住宅の補助限度額 1,000千円/件(木造住宅) ・実績 木造住宅 10件	決算の内訳（主なもの）	
		18節	9,600
		課名	
		【建築住宅課】	
08-05-01	住宅耐震診断事業	4,557	4,557
活動結果	旧耐震基準の住宅の耐震診断を実施した ・対象 旧耐震基準で建築した木造住宅・非木造住宅所有者 ・実績 木造住宅耐震診断委託 91件	決算の内訳（主なもの）	
		10節	36
		11節	226
		12節	4,295
		課名	
		【建築住宅課】	
08-05-01	住宅除却補助事業	4,659	4,659
活動結果	旧耐震基準の住宅の除却工事費に対し補助した ・対象 旧耐震基準で建築した木造住宅の所有者 ・補助限度額 200千円 （緊急輸送路沿い 250千円） ・実績 23件（うち緊急輸送路沿い2件）	決算の内訳（主なもの）	
		18節	4,659
		課名	
		【建築住宅課】	
08-05-01	勝山住宅屋上防水改修事業	14,399	14,399
活動結果	勝山住宅4号棟の屋上防水改修を実施した ・場所 荒尾町勝山地内 ・内容 屋上防水改修 546㎡ ・工期 2024.10～2025.2	決算の内訳（主なもの）	
		14節	14,399
		課名	
		【建築住宅課】	
08-05-01	住宅子育て世帯等補助事業	13,968	12,800
活動結果	三世代で同居又は近居するための住宅の新築、増築又は住宅購入をする子育て世帯に対し補助した ・対象 三世代で同居又は近居をする子育て世帯 ・補助額 800千円(同居)、300千円(近居) ・実績 同居4件、近居32件	決算の内訳（主なもの）	
		18節	12,800
		課名	
		【建築住宅課】	

施策 20 安全で快適な移動環境の整備

主管課：土木課

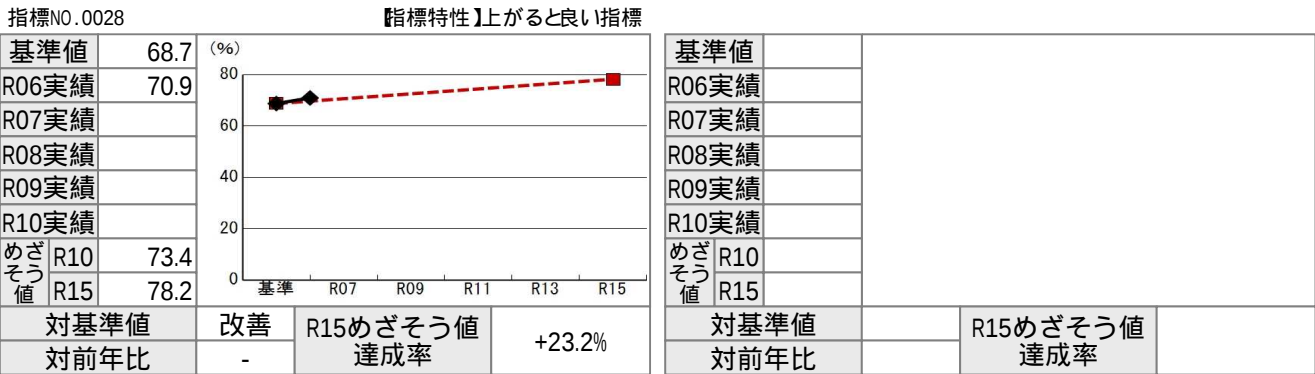
- 施策の目標
- 道路環境が整い、さまざまな公共交通機関を利用することで、安全で円滑に市内・市外へ移動できています。
- 施策の基本方針
- 社会情勢や利用者のニーズに合わせた公共交通ネットワークの整備を計画的に進めます。
- また、快適に移動しやすい道路を整備するとともに、道路施設の良好な状態を維持するため、長寿命化や耐震化などの適切な維持管理を推進します。

■ 施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	10,504,644	対前年比	97.2%	決算	R06年度	7,554,565	対前年比	118.2%
	R05年度	10,811,203				R05年度	6,393,703		

■ まちづくり指標の推移

市内・市外へ円滑に移動できる環境が整っていると思う人の割合（％）



土木課

■ 施策全体の評価 順調

・「市内・市外円滑に移動できる環境が整っていると思う人の割合」は、基準値より改善している。年齢別では、65歳以上の評価が低く50代未満での評価が高い状況となっている。

指標動向

・計画的な道路整備や道路や橋りょうの日常的な点検を実施し、劣化状況に応じた修繕を行うとともに、長寿命化や耐震化を図ったことが順調にポイントが上昇している要因と考える。

・加木屋中ノ池駅の開業や都市計画道路養父森岡線の開通により、通勤・通学で電車や自家用車を利用する年代からの評価が高いと考える。

・一方で、歩道設置などの事業があまり進んでいないことで、普段、徒歩で移動している65歳以上以上からの評価が低いと考える。

施策全体評価の要因分析

・単位施策01「利便性の高い公共交通ネットワークを充実させる」については、らんらんバス利用促進対策、新たなバス停の設置とタイヤ改正、公共交通機関の乗り継ぎ割引などを実施し成果指標の向上を図る。

・単位施策02「移動がしやすい道路をつくる」、03「道路施設の適切な維持管理を推進する」については、引き続き、優先順位の高い狭あい道路や歩道幅員の狭い道路等の道路改良を進め、道路の適切な維持管理に努める。

今後の方針

款項目		事業名	R06年度予算	R06年度決算	
02-01-13		地域公共交通会議負担金	14,432	14,040	
活動結果	道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく会議として、持続可能な地域の公共交通体制の維持に向けた協議を年4回実施するとともに、デマンド交通実証実験等を実施した ・内容 デマンド交通実証実験(2024年10月1日～2025年9月30日)、バスの乗り方教室 2校		決算の内訳(主なもの)		
			18節	14,040	
			課名		
			【都市計画課】		
02-01-13		循環バス運行事業	220,746	216,306	
活動結果	主要公共交通との連携及び地域間の移動交通手段の確保を目的として、循環バスを9月までは3路線6系統(車両6台)で運行し、10月から5路線11系統(車両8台)に再編して運行した ・内容 EV車両2台を追加導入、バスロケーションシステム更新、2月から観光物産プラザで回数券の販売開始 ・循環バス利用者数 292,201人		決算の内訳(主なもの)		
			10節	6,776	
			12節	7,129	
			18節	201,288	
			課名		
		【都市計画課】			
02-01-13		一般乗合旅客運送運賃等協議会設置事業	18	16	
活動結果	循環バスのダイヤ・ルート改正に伴い、路線に係る適正な運賃等について協議するため、一般乗合旅客運送運賃等協議会を開催した ・委員数 4人 ・開催回数 1回		決算の内訳(主なもの)		
			7節	15	
			8節	1	
			課名		
			【都市計画課】		
08-04-03		新駅周辺等整備事業	2,665,011	1,087,079	
活動結果	新駅及び駅周辺に必要な施設を設置するため、駅舎等の整備に必要な経費の名古屋鉄道㈱への負担や、公立西知多総合病院及び中ノ池地区アクセス通路整備工事等を実施し、一部を翌年度に繰越した 場所 加木屋町唐畑始め3地内(西知多総合病院東) ・新駅設置事業工事負担金 ・アクセス通路整備工事 等(翌年度繰越額 1,574,391千円)		決算の内訳(主なもの)		
			12節	1,092	
			14節	82,773	
			18節	1,003,200	
			課名		
		【新駅周辺整備推進課】			
08-04-03		新駅周辺等整備事業(繰越明許費)	2,009,337	2,002,827	
活動結果	新駅及び駅周辺に必要な施設を設置するため、駅舎等の整備に必要な経費の名古屋鉄道㈱への負担や、公立西知多総合病院及び中ノ池地区アクセス通路、駅前広場の工事等を実施した 場所 加木屋町唐畑始め3地内(西知多総合病院東) ・新駅設置事業工事負担金 ・アクセス通路整備工事 等(前年度繰越額 2,009,337千円)		決算の内訳(主なもの)		
			12節	13,362	
			14節	259,679	
			18節	1,729,660	
			課名		
		【新駅周辺整備推進課】			

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
幹線・補助幹線道路の整備率（％）	70.3	70.3	70.6	71.8	改善

成果
指標
動向

・「幹線・補助幹線道路の整備率」は基準値から1.5ポイント、前年度から1.2ポイント改善している。

主な事業の概要

(単位：千円)

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
08-02-03	向山南北線始め10路線道路改良事業	179,195	87,049
活動結果	国道155号の4車線化整備に合わせ、補助幹線道路の整備を行うため、道路改良工事等を実施し、一部を翌年度に繰越した 場所 加木屋町御林始め2地内(大府市境付近) ・道路改良工事 工期 2024. 8. 17～2025. 3. 31 ・土地購入費 7筆 875.36㎡、物件移転補償費 1件 (翌年度繰越額 92,145千円)		決算の内訳（主なもの）
			14節 66,257
			16節 13,537
			21節 3,680
			課名
			【土木課】
08-02-03	太田川駅前通り線道路改良事業	170,716	99,558
活動結果	市道太田川駅前通り線の延伸整備をするため、道路改良工事等を実施し、一部を翌年度に繰越した 場所 大田町細田始め2町8地内 ・道路改良工事 工期 2024. 10. 29～2025. 3. 31 ・土地購入費 14筆 993.39㎡、物件移転補償費 2件、負担金 (翌年度繰越額 70,468千円)		決算の内訳（主なもの）
			14節 39,600
			16節 42,161
			18節 11,620
			課名
			【土木課】
08-02-03	南柴田8号線始め2路線道路改良事業	571,106	194,321
活動結果	東海名和駅西土地地区画整理事業に合わせ、アクセス道路の整備を行うため、道路改良工事等を実施し、一部を翌年度に繰越した 場所 名和町三番割下始め2町4地内 ・道路改良工事 工期 2024. 7. 18～2025. 3. 31 ・土地購入費 1筆 156.88㎡、物件移転補償費 1件 (翌年度繰越額 376,784千円)		決算の内訳（主なもの）
			14節 43,400
			16節 10,464
			21節 139,773
			課名
			【土木課】
08-02-03	西知多道路大田インターチェンジ1号線始め3路線道路新設事業	528,817	179,332
活動結果	西知多道路大田インターチェンジ(仮称)及び関連道路の整備を実施し、県負担金等の一部を翌年度に繰越した 場所 大田町川南新田始め2町3地内 ・道路改良工事 工期 2024. 12. 19～2025. 3. 31 ・県負担金、公共施設管理者負担金 (翌年度繰越額 349,486千円)		決算の内訳（主なもの）
			14節 49,900
			18節 125,860
			21節 3,572
			課名
			【土木課】
08-04-03	養父森岡線街路整備事業	594,568	340,851
活動結果	幹線道路ネットワークの構築を図るため、鉄道の高架化に必要な経費の名古屋鉄道㈱への負担や、街路整備工事等を実施し、一部を翌年度に繰越した 場所 加木屋町鈴井田始め7地内(西知多総合病院東) ・鉄道高架事業工事負担金 ・街路整備工事 L=200m等 (翌年度繰越額 252,560千円)		決算の内訳（主なもの）
			13節 7,395
			14節 233,229
			18節 94,400
			課名
			【新駅周辺整備推進課】

単位 施策	03	道路施設の適切な維持管理を推進する				評価
		主管課：土木課				順調
成果指標名		基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
幹線・補助幹線道路の劣化割合（％）		10.3	10.3	10.6	10.3	横ばい
長寿命化した橋りょうの割合（％）		32.7	32.7	38.8	38.8	改善
耐震補強した橋りょうの割合（％）		44.9	44.9	44.9	46.9	改善
成果 指標 動向	・「幹線・補助幹線道路の劣化割合」は基準値と同数であり横ばいであるが、前年度からは0.3ポイント改善している。					
	・「長寿命化した橋りょうの割合」は基準値から6.1ポイント改善しているが、前年度からは横ばいである。					
	・「耐震補強した橋りょうの割合」は基準値及び前年度から2.0ポイント改善している。					
主な事業の概要		(単位：千円)				
款項目	事業名	R06年度予算		R06年度決算		
08-02-02	名和養父線維持補修事業	18,832		18,832		
活動 結果	路面性状調査(平坦性、ひび割れ)により、早期に修繕が必要と判断された道路を修繕した ・場所 中央町一丁目始め2地内(市役所西) ・内容 舗装工 A=2,460㎡ ・工期 2024. 9.18～2025. 3.25	決算の内訳（主なもの）				
		14節	18,832			
		課名				
	【土木課】					
08-02-02	伏見上野台線維持補修事業	27,771		27,313		
活動 結果	路面性状調査(平坦性、ひび割れ)により、早期に修繕が必要と判断された道路を修繕した ・場所 富木島町寺下始め5地内(富木島中学校東) ・内容 舗装工 A=2,760㎡ ・工期 2024. 9.18～2025. 3.25	決算の内訳（主なもの）				
		14節	27,313			
		課名				
	【土木課】					
08-02-02	橋りょう定期点検事業	19,279		19,279		
活動 結果	道路法に基づき、橋りょうの適切な維持管理を行うため、定期点検を実施した ・道路橋点検業務 腹太橋始め31橋 ・横断歩道橋点検業務 富木島小前歩道橋始め2橋	決算の内訳（主なもの）				
		12節	19,279			
		課名				
	【土木課】					
08-02-02	前田橋維持補修事業（繰越明許費）	22,107		22,107		
活動 結果	道路橋長寿命化修繕計画に基づき、早期に補修が必要と判断された橋りょうを補修した ・場所 荒尾町前田始め2地内(平洲小学校北) ・内容 橋梁維持工事 L=9.4m、塗装塗替工、橋梁補修工等 ・工期 2024. 7.17～2025. 3.26 (前年度繰越額 21,585千円)	決算の内訳（主なもの）				
		12節	4,730			
		14節	17,377			
		課名				
	【土木課】					
08-02-02	横須賀高校前横断歩道橋維持補修事業（繰越明許費）	43,112		42,965		
活動 結果	横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づき、早期に補修が必要と判断された歩道橋を補修した ・場所 高横須賀町南広脇始め2地内(横須賀高校南) ・内容 歩道橋維持工事 L=13.7m、塗装塗替工、橋梁補修工等 ・工期 2023.11. 8～2024. 7. 5 (前年度繰越額 43,112千円)	決算の内訳（主なもの）				
		12節	4,653			
		14節	38,312			
		課名				
	【土木課】					

施策 21 花と緑につつまれたまちの推進

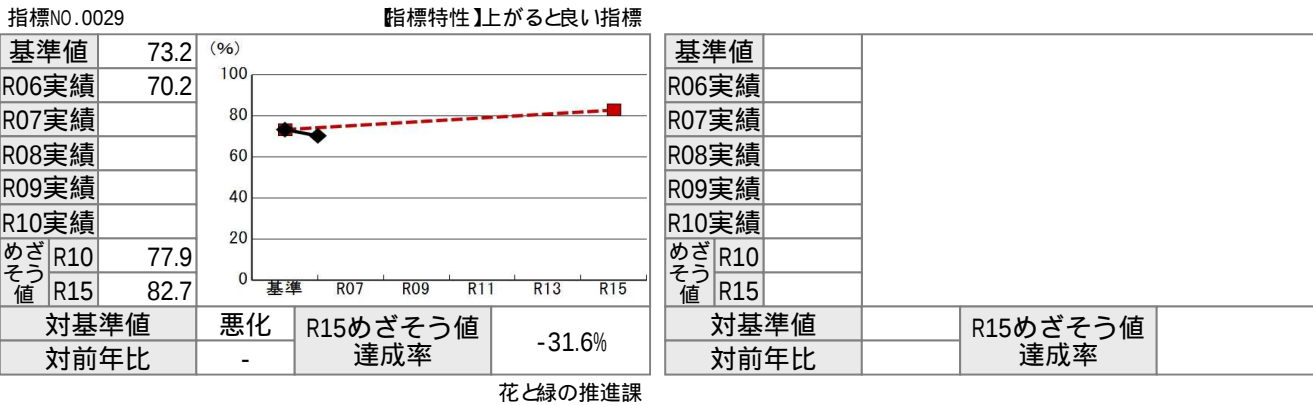
主管課：花と緑の推進課

- 施策の目標
公園・緑地の充実や花づくり・緑化活動の推進により、花と緑が豊かなまちになっています。
- 施策の基本方針
市民の憩いの空間となるよう、花と緑につつまれた魅力ある公園や緑地の整備を推進するとともに、だれもが安心して、安全に公園や緑地を利用できるよう公園施設の長寿命化を進め、適切な維持管理に努めます。
また、市民、地域、団体、事業者などと連携しながら、市民などが自主的に花づくりや緑化活動に取り組める環境を整え、花や緑とふれあえるまちづくりを進めます。

■ 施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	1,269,597	対前年比	109.9%	決算	R06年度	1,240,686	対前年比	109.2%
	R05年度	1,155,091				R05年度	1,136,102		

■ まちづくり指標の推移
花や緑が豊かなまちであると思う人の割合（％）



■ 施策全体の評価 横ばい

- 指標動向
・まちづくり指標は対基準値で3.0ポイント低下している。年齢別では16～19歳及び20～29歳の低年齢層の数値が高く、65～74歳及び75歳以上の数値が低い傾向にある。
- 施策全体評価の要因分析
・老朽化した遊具や休憩施設の更新を計画的に実施し、安全・安心な公園づくりを着実に進めるとともに、開発行為によって公園・緑地が整備されたことから、単位施策01「魅力ある公園・緑地整備」は順調に進んでいる。
・猛暑の影響による発芽不良により花苗育成が困難となり、地域に配布できる株数が予定より減少したことから、「地域で管理する花壇に植えた花苗の株数」及び「花や緑を育てる、飾るなど、花や緑が身近にある生活を送っている人の割合」は基準値より低下し、順調ではないものの、主な事業として取り組んだ「花のまちづくり講習会」や「ランの道づくり植栽会」、「次世代の桜植樹会」など、花や緑を育てるイベントへの参加者数が増加傾向にあること、生垣等緑化補助金の申請件数は前年度比で10.5倍、建築物等緑化補助金の申請件数は前年度比で2倍に増加していることから、施策全体評価は、横ばいに推移したと考える。
- 今後の方針
・今後は、市民の憩いの空間となるよう、花と緑につつまれた魅力ある公園や緑地の整備を推進するとともに、だれもが安心して、安全に公園や緑地を利用できるよう公園施設の長寿命化を進め、適切な維持管理を継続していく。
・市民、地域、団体、事業者などと連携しながら、市民などが自主的に花づくりや緑化活動に取り組めるきっかけづくりとして、講習会や植栽会、ワークショップ等を開催するとともに、花の苗や種子の配布、花壇づくりの資材の提供、生垣等緑化補助金の交付等の支援の充実に努めていく。

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
長寿命化計画に基づき更新した公園施設の割合（％）	0	0	0	26.51	改善
一人当たりの公園面積（㎡/人）	11.06	11.06	11.61	11.61	改善

成果
指標
動向

- ・「長寿命化計画に基づき更新した公園施設の割合」は、基準値から26.51ポイント改善している。
- ・「一人当たりの公園面積」は、基準値から0.55㎡/人以上改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
08-04-05	公園長寿命化事業	34,460	33,749
活動 結果	公園長寿命化計画に基づき公園施設を更新した ・場所 大池公園等 ・内容 四阿等改修工事 ・工期 2024. 6. 19～2025. 3. 28	決算の内訳（主なもの）	
		14節	33,749
		課名 【花と緑の推進課】	
08-04-05	渡内2号公園フェンス維持補修事業	14,190	14,190
活動 結果	破損したフェンスを改修した ・場所 荒尾町登立地内 ・内容 フェンス改修工事 L=151.2m ・工期 2024. 6. 19～2024. 11. 12	決算の内訳（主なもの）	
		14節	14,190
		課名 【花と緑の推進課】	
08-04-07	緑陽公園整備事業	59,307	58,799
活動 結果	防災機能を確保した公園整備を行った ・場所 名和町地内(名和中学校東) ・詳細設計 工期 2024. 6. 12～2025. 2. 28 ・土地購入費 1,085.62㎡	決算の内訳（主なもの）	
		11節	253
		12節	2,530
		16節	56,016
		課名 【花と緑の推進課】	
08-04-07	御洲浜公園整備事業	13,930	12,100
活動 結果	東海太田川駅周辺土地地区画整理事業区域内の街区公園の設計を行った ・場所 高横須賀町御洲浜地内(太田川駅南) ・内容 公園実施設計、測量業務、環境調査業務 ・工期 2024. 6. 19～2025. 3. 21	決算の内訳（主なもの）	
		12節	12,100
		課名 【花と緑の推進課】	
08-04-07	大池公園整備事業	55,756	44,767
活動 結果	老朽化した園路及び護岸の改修等を行った ・場所 中央町三丁目地内 ・園路改修工事 L=73.5m、護岸改修工事 L=71m、園路新設基本設計 L=220m 工期 2024. 6. 5～2025. 2. 28 ・野球場照明施設設計委託一式 工期 2024. 11. 20～2025. 6. 30 (翌年度繰越額 10,668千円)	決算の内訳（主なもの）	
		12節	9,268
		14節	35,499
		課名 【花と緑の推進課】	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
地域で管理する花壇に植えた花苗の株数（株/年）	19,752	19,752	19,392	15,960	悪化
花や緑を育てる、飾るなど、花や緑が身近にある生活を送っている人の割合（％）	59.0	59.0	55.7	55.7	悪化

成果
指標
動向

- ・「地域で管理する花壇に植えた花苗の株数」は、基準値より3,792株（19.2％）、前年度より3,432株（17.7％）低下している。
- ・「花や緑を育てる、飾るなど、花や緑が身近にある生活を送っている人の割合」は、基準値より3.3ポイント低下しているが、前年度からは変化していない。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
08-04-06	建築物等緑化補助事業	3,599	3,511
活動結果	緑化の推進及び良好な住環境づくりの促進のため、建築物等の緑化に要する経費に対して補助した ・対象 市街化区域及び市街化調整区域内の既存集落内で行う屋上、壁面、空地、駐車場の緑化及び生垣設置 ・補助率 1/2 ・実績 6件(空地緑化 6件)		決算の内訳（主なもの）
			18節 3,511
			課名
			【花と緑の推進課】
08-04-06	花と緑いっぱいのもちづくり事業	4,699	4,642
活動結果	花に包まれたきれいなまちづくりを推進するため、花苗の育成及びコミュニティ等への配布、町内会・自治会の花壇づくりへの資材等提供を行った ・花苗育成 2団体(12コミュニティ配布) ・花苗等提供 14団体 ・資材提供 4団体		決算の内訳（主なもの）
			7節 1,950
			10節 2,438
			12節 177
			課名
			【花と緑の推進課】
08-04-06	花のまちづくり運動推進委員会設置事業	135	127
活動結果	各種団体に所属する花のまちづくり運動推進委員(24人)を通じて、広く花いっぱいのまちづくりを推進するため、花苗や種子の配布及び花植えを実施する他、花壇づくり講習会を開催した ・実践活動 花植え 2回(6月：太田川駅前広場、2月：大池公園) ・啓発活動 花苗配布1回(6月：太田川駅前広場) ・花壇づくり講習会 2回(10月：種から花づくり、2月：土づくり)		決算の内訳（主なもの）
			7節 30
			10節 78
			13節 13
			課名
			【花と緑の推進課】
08-04-06	さくら再生事業	7,100	6,930
活動結果	大池公園のさくらの魅力を高め、次世代に引き継ぐため、樹木医の指導のもと、市民ワークショップによる樹勢回復促進作業及び記念植栽会を行った ・場所 中央町三丁目地内(大池公園) ・時期 2024.10～2025.3 ・内容 ワークショップ 4回、次世代のさくら植栽会 神代曙15本		決算の内訳（主なもの）
			10節 99
			12節 6,831
			課名
			【花と緑の推進課】
08-04-06	ランの道植栽会開催事業	3,072	3,063
活動結果	ランの道の魅力向上を図るため、シランの植栽帯幅を拡げ、植栽会を開催するとともに、ウォークラリーを行った ・場所 大田町地内(太田川駅東歩道) ・時期 2024.4～2024.5 ・内容 植栽会、ウォークラリー		決算の内訳（主なもの）
			7節 50
			10節 99
			12節 2,907
			課名
			【花と緑の推進課】

施策 22 水道水の安定供給と汚水の適切な処理の推進

主管課：経営課

■ 施策の目標

上水道を安心して利用できるとともに、下水道により適切な汚水処理ができています。

■ 施策の基本方針

水道水を安定供給するため、管路の耐震適合率の向上及び水道施設の日常的な維持管理に取り組むとともに、汚水を適切に処理するため、汚水処理施設の計画的な整備や日常的な維持管理に取り組みます。
また、水道事業と下水道事業の健全な経営に努めます。

■ 施策実現の財源投入状況（単位：千円）

予算	R06年度	1,089,295	対前年比	98.9%
	R05年度	1,100,866		

決算	R06年度	1,039,061	対前年比	96.8%
	R05年度	1,073,192		

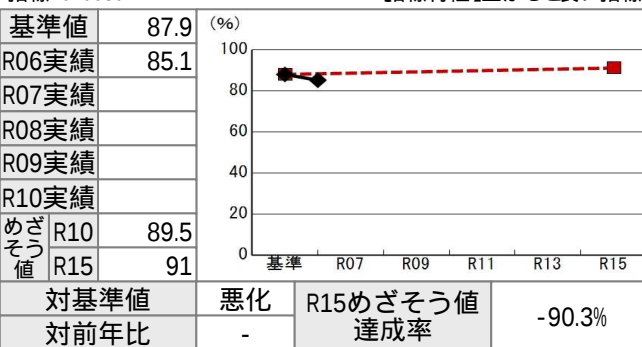
■ まちづくり指標の推移

水道水を安心して利用できる人の割合（％）

汚水処理体制に安心感を持っている人の割合（％）

指標NO.0030

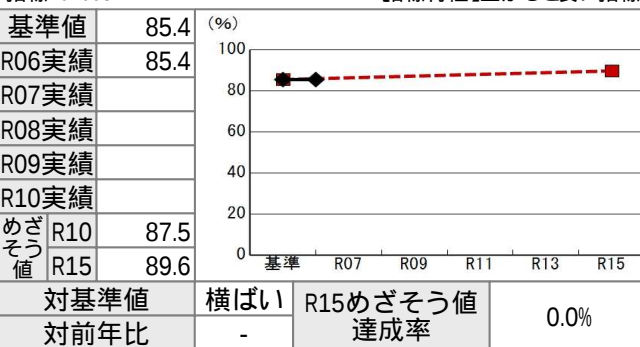
【指標特性】上がるの良い指標



水道課

指標NO.0031

【指標特性】上がるの良い指標



下水道課

■ 施策全体の評価

横ばい

指標
動向

- ・「水道水を安心して利用できる人の割合」は、基準値より2.8ポイント低下した。
- ・「汚水処理体制に安心感を持っている人の割合」は、基準値と同じとなった。
- ・「水道水を安心して利用できる人の割合」及び「汚水処理体制に安心感を持っている人の割合」は、年齢別では16～19歳の割合が高く、基準値から上昇した一方、その他ほとんどの年代で低下しており、職業別では学生が高い割合となっている。

施策
全体
評価
の
要因
分析

- ・「水道水を安心して利用できる人の割合」は基準値より低下したが、「汚水処理体制に安心感を持っている人の割合」は基準値と同一であり、施策全体として横ばいの状況にある。
- ・水道施設を適切に維持管理し、水道は安定供給されているが、水道水を安心して利用できる人の割合が減少しており、これは能登半島地震での長期間の断水や、近年各地で発生している老朽管路の破損事故などの報道を受け、市民の意識の中に水道施設への不安感が増加したことが影響したと考える。
- ・単位施策の成果指標である「基幹管路の耐震化適合率」や「汚水管の整備率」は着実に向上しているが、まちづくり指標の上昇に繋がっていない状況にある。安心・安全な上水道・下水道に向けた整備を進めているが、その取組が市民に理解されていないものとする。

今後
の方針

- ・市民が日常生活において水道水を安心して利用し、また汚水が適切に処理される状況を推進していくためには、基幹管路の耐震化や汚水管の整備をさらに進めていくことが必要であり、今後も計画的に整備を進めていく。また、上水道・下水道の整備状況や安心・安全に向けた取組が理解されるよう、広報やホームページによる周知だけでなく、各種媒体やイベントなどでの啓発活動を検討し、PRの充実を図る。

単位
施策 01

水道水の安定供給を推進する

主管課：水道課

評価
順調

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
基幹管路の耐震適合率（％）	60.4	60.4	61.2	61.8	改善
経常収支比率（水道事業）（％）	102.5	102.5	104.9	101.8	悪化

成果
指標
動向

- ・「基幹管路の耐震適合率」は、基準値から1.4ポイント改善し、前年度より0.6ポイント改善している。
- ・「経常収支比率（水道事業）」は、基準値から0.7ポイント、前年度より3.1ポイント低下している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
04-02-01	専用水道審査事業	285	154
活動 結果	東海市専用水道施設等維持管理指導要領に基づく専用水道施設への 立入調査を実施した ・立入調査補助業務 7カ所	決算の内訳（主なもの）	
		12節	154
		課名	
		【生活環境課】	

成果指標名	基準値	R04年度	R05年度	R06年度	対基準値
汚水管の整備率（％）	82.8	82.8	85.2	85.4	改善
経常収支比率（下水道事業）（％）	94.0	94.0	93.9	94.0	横ばい

成果
指標
動向

- ・「汚水管の整備率」は、基準値から2.6ポイント改善しており、名和地区の整備が進んでいる。
- ・「経常収支比率（下水道事業）」は、基準値から横ばいとなっており、経常費用のうち減価償却費が増加し、経常収益のうち下水道使用料が増加した。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R06年度予算	R06年度決算
08-04-01	下水道事業会計補助金	647,100	597,006
活動 結果	下水道事業の運営経費に対して補助した ・ 分流式下水道等に要する経費 573,698千円 ・ 水洗便所に係る改造命令等に関する事務に要する経費 5,934千円 ・ その他 17,374千円	決算の内訳（主なもの）	
		18節	597,006
		課名	
		【都市計画課】	
08-04-01	下水道事業会計出資金	441,910	441,901
活動 結果	下水道建設改良工事等の整備促進のため出資した ・ 管渠整備分等(汚水・雨水) 372,741千円 （整備面積 4.6ha、人口普及率 87.2%） ・ 浄化センター分 17,981千円 ・ 雨水ポンプ場分 51,179千円	決算の内訳（主なもの）	
		23節	441,901
		課名	
		【都市計画課】	